

2024年12月10日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

## 近畿大学（証券コード：－）

### 【維持】

発行体格付： AA [安定的]

### 【格付理由】

西日本最大、国内有数規模の総合大学である近畿大学を中心に各種の教育機関を設置する学校法人。理事会主体の法人系部門と教学系部門、併設する病院が協働して教育、研究、社会貢献の面で実績を上げている。「実学教育」と「人格の陶冶」を建学の精神に掲げ、経営改革に積極的に取り組んでいる。「期待され応援され、社会の役に立ち、革新的であり、時代の変化に対応し、選ばれる教育機関であり続ける」ことを目標に、大学の知名度、社会的評価を上げつつある。

2024年度入試の一般選抜の延べ志願者数は約14万7000人で、11年連続で全国1位だった。受験生1人当たりの出願数減少に加え、推薦選抜や総合型選抜を志向する生徒の増加なども影響し、前年度比約5400人減少したものの、実志願者数では横ばいを保った。極めて強い学生募集力を維持している。18歳人口の減少を背景に長期的な募集環境は厳しいが、環境変化への対応力を支えに今後も多くの志願者を確保できるとみている。

科学研究費助成事業（科研費）の受け入れ金額は2023年度に10.5億円となり、2年連続で過去最高を更新した。民間企業からの受託研究実施件数は7年連続で国内1位だ。創立100周年記念募金を通じて年間10数億円を超える収入を確保している。これら外部資金の獲得金額は増加傾向にあり、収益源の多様化に寄与する。

2023年度の基本金組入前当年度収支差額は、新型コロナウイルス感染症関連の補助金減少、人件費や物価の上昇、修繕費の増加などで前年度比41億円減少の71億円となった。事業活動収支差額比率は同2.7ポイント悪化の4.6%となり、格付に見合わない水準に低下した。もっとも医学部・病院関連部門では人件費や医療経費が増加する中でも黒字を確保しており、効率化の成果として評価できる。今後も様々なコストの上昇が予想されることから、全体の収支動向を確認していく。

医学部・近畿大学病院の移転・再編は2022年に着工し、学園創立100周年を迎える2025年7月に竣工、同年11月に新病院が開院予定だ。総事業費は2023年時点で約900億円を見込んだが、設計変更やDX（デジタルトランスフォーメーション）化への対応、医療機器の価格上昇などがコスト削減額を上回り、上振れしそうだ。2022年度まで増加傾向にあった内部留保資産は2023年度以降、工事関連の支出もあって減少する見通し。内部留保資産比率は当面、格付対比で見劣りしそうではあるものの、新病院の開院後は収入増が見込まれ、長期的には回復するとみている。

### 【格付対象】

発行者：近畿大学

### 【維持】

| 名称    | 格付 | 格付の方向性 |
|-------|----|--------|
| 発行体格付 | AA | 安定的    |

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

|            |                                                   |
|------------|---------------------------------------------------|
| 格付関係者      | 近畿大学                                              |
| 主任格付アナリスト  | 喜多 総治郎                                            |
| 信用格付を付与した日 | 2024年12月10日                                       |
| 主要な格付方法    | 事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]、学校法人 [2024/05/22] |
| 情報提供者      | 格付関係者                                             |

|            |                                                                                                                                                                       |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 利用した主要な情報  | 決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等                                                                                                                                              |
| 品質確保のための措置 | 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。                                                             |
| 格付方法の概要    | 次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。<br><a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a> |
| 評価の前提      | 次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。<br><a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>                   |
| 格付符号と定義    | 次のウェブサイトに掲載しています。<br><a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>                              |

## 信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

|                            |                                                              |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 信用格付の付与について<br>代表して責任を有する者 | 丸山 博哉                                                        |
| 信用格付業者<br>登録番号             | 株式会社格付投資情報センター<br>金融庁長官（格付）第6号<br>直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。 |

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. [infodept@r-i.co.jp](mailto:infodept@r-i.co.jp)

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

©Rating and Investment Information, Inc.